

予防接種費用の助成

NEW 帯状疱疹予防接種

対象▶接種日時時点で町に住民登録があり、満50才以上の人
※10月1日以降に接種した人が対象。

ワクチンの種類と助成額▶①または②のどちらか一方のみ

①水痘(生)ワクチン 4,000円(上限1回)

②帯状疱疹(不活化)ワクチン 1回/10,000円(上限2回)

※②は1回接種後、通常2カ月の間隔を置いて2回目を接種。

【助成金交付までの流れ】

(1) 予診票の交付申請 接種には町指定の予診票が必要です。申請書を保健センターに持参もしくは郵送にて提出するか、電子申請してください。館林市邑楽郡医師会に所属する接種協力医療機関で接種した場合は、接種費用から助成額を引いた額をお支払いください。協力医療機関以外で接種した場合は、接種金額を一旦全額負担していただきます。

(2) 償還払い交付申請(協力医療機関以外で接種した場合のみ) 予診票(原本)と医療機関が発行した領収書を持参し、保健センターに申請してください。償還払いで助成金交付を受ける場合は、助成額分のコハクペイを交付します。

※上記②の場合は2回接種を完了してから申請してください。

償還払いの申請期限▶接種日の属する年度の末日まで

申請から交付決定までは1~2カ月程かかります。決定通知とコハクペイは簡易書留で郵送し、郵送での受け取りができない場合は保健センターでのお渡しになります。



帯状疱疹とは

痛みを伴う皮膚疾患

帯状疱疹は神経に潜んでいた水痘・帯状疱疹ウイルスが活性化することで発症する皮膚疾患です。通常右側または左側どちらか一方に出るのが特徴で、痛みを伴う皮膚症状が3週間ほど続きます。症状としてはまずピリピリ、チクチク、ズキズキといった神経痛が出て、1週間程度で痛みがある部分に赤い斑点が見られるようになります。その後赤い斑点内に水ぶくれができ、水ぶくれが破れてびらん(ただれた状態)になり、最終的にそこがかさぶたになって症状が治まるという経過をたどります。

早期治療が重要

帯状疱疹は早期治療が非常に重要です。50歳以上になると罹患リスクが高まります。左右いずれかにズキズキ、ピリピリした痛みを感じたり、それが続いたりするようであれば、速やかに皮膚科を受診しましょう。



中学3年生・高校3年生世代の

NEW インフルエンザ予防接種

対象▶接種日時時点で町に住民登録がある中学3年生相当の年齢の人、または高校3年生相当の年齢の人

助成対象期間▶10月1日㊤~令和6年1月31日㊤

助成金額▶上限2,000円(コハクペイで交付)

※接種金額が2,000円に満たなかった場合は、500円毎に区切った額を助成。(例:接種額 1,800円▶助成額 1,500円)

※他団体から助成を受けた場合、その額は控除。

助成回数▶1年度あたり1回

申請方法▶保健センターへ来所または電子申請

申請期限▶令和6年2月29日㊤

必要書類▶医療機関が発行した領収書

申請から交付決定までは1~2カ月程かかります。決定通知とコハクペイは簡易書留で郵送し、郵送での受け取りができない場合は保健センター窓口でのお渡しになります。申請から交付決定までに町外に転出などした場合は助成対象外となります。



高齢者のインフルエンザ予防接種

対象▶次の①または②に該当する人

①接種日に満65歳以上で、自ら接種を希望する人

②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある者として厚生労働省令に定める人

実施医療機関▶館林市邑楽郡医師会、太田市医師会、足利市医師会などで町と委託契約をしている医療機関

接種費用▶自己負担額1,000円(1人1回のみ)

※館林市邑楽郡医師会、太田市医師会、足利市医師会以外では自己負担額が1,000円を超える場合があります。

※町の予診票がない場合や町が委託契約をしていない医療機関で接種すると全額自己負担になります。

必要書類▶配布された予診票および済証、健康保険証

実施期間▶10月1日㊤~令和6年1月13日㊤

※実施期間外は全額自己負担になります。

問合先 役場健康づくり課(保健センター) ☎88-5533

妊婦歯科健診や不妊治療などの助成

NEW 妊婦歯科健診

対象▶町内在住の妊婦

※すでに出産をした人で、令和5年4月1日以降の妊娠中に妊婦歯科健診を受診した場合も対象。

助成金額▶上限2,000円(コハクペイで交付)

※接種金額が2,000円に満たなかった場合は、500円毎に区切った額を助成。

助成回数▶1回の妊娠期間中に1回

申請方法▶保健センターへ来所または電子申請

必要書類▶領収書など歯科健診費用が分かるもの、母子健康手帳など歯科健診結果が分かるもの



妊活の悩みをLINEで無料相談

妊活LINEサポート



まずは友達追加→
LINE ID:@famione

看護師・助産師・臨床心理士などの専門スタッフがあなたに最適なアドバイスをお届け。

無料クーポンコード

ora邑楽町大字〇〇

〇〇にはお住いの大字名が入ります

クーポンコード入力で
自由相談無料

健康教室のご案内

① バレトン教室

バレエ・ヨガ・フィットネスの良いところ取りの新しい健康体操

期日▶11月15日㊤、11月22日㊤(2日間1コース)

時間▶午前10時~11時30分

内容▶バレトンに関する講話と実技

定員・参加費▶20人(先着順)・無料

持ち物▶飲み物、ヨガマット、タオル

申込開始▶10月23日㊤

笑顔で長生き!

② ロコモ予防教室

運動機能低下の予防や日頃の運動不足の解消に

期日▶10月26日㊤、11月7日㊤(2日間1コース)

時間▶午前9時30分~11時45分

内容▶ロコモ(運動器症候群)に関する講話と実技

定員・参加費▶20人(先着順)・無料

持ち物▶飲み物、ヨガマット、タオル

申込開始▶10月16日㊤

不妊治療・不育症治療

対象▶次の全てに該当する夫婦

①法律上の婚姻関係にある

②夫婦の一方または双方が1年以上町内に住所を有する

③町税の滞納がない

④医療保険各法における被保険者または被扶養者である

対象となる治療▶【不妊治療】医師が必要と認めた不妊治療で、診療・検査・投薬など

【不育症治療】医師が必要と認めた不育症治療で、診療・検査など

助成金額▶【不妊治療】医療保険適用外の費用で上限15万円

※他の公共団体で助成を受けている場合は、支給対象経費から該当助成額を除く。

【不育症治療】自己負担金額の2分の1の額で上限30万円

助成回数▶年度あたり1回(通算して5回まで)

申請方法▶保健センターへ来所

※必要書類は助成を受ける人の状況により異なります。まずは保健センターにお問い合わせください。

申請期限▶【不妊治療】、【不育症治療】1回の治療が終了した日の属する年度の3月31日まで

※やむを得ない理由で申請期限を過ぎてしまう場合は、3月中に保健センターまでご連絡ください。



③ 毎日コツコツ貯筋教室

期日▶11月10日㊤、11月17日㊤(2日間1コース)

時間▶午前9時30分~11時

内容▶体のバランスをとる筋肉や歩くときに必要な筋肉の鍛え方を学ぶ

定員・参加費▶20人(先着順)・無料

持ち物▶飲み物、ヨガマット、かかとのある上履き

申込開始▶10月23日㊤

てくてくアプリ
ポイント対象



【アプリの詳細は
本紙4ページから】

【①~③共通事項】

会場▶保健センター

申込方法▶保健センターに電話で申し込む